

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	1・4・3号高速3号線（北部区間） （1・5・2号高速分岐2号線（明道町JCT北渡り））
事業主体	名古屋高速道路公社

事業採択の前提条件を確認するための指標

前提条件	事業の効率性	指 標	指標チェックの根拠
		便益が費用を上回っている	費用便益比（B/C）=3.8 （経済的純現在価値（B-C）=4,784億円、経済的內部収益率（EIRR）=15.3%）

事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは を に変更）	指標チェックの根拠	
1. 活力 円滑なモビリティの確保	現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	並行区間（国道22号市内区間） 並行区間等の渋滞損失時間：130万人・時間/年 並行区間等の渋滞損失削減率：46%削減	
	現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	並行区間（国道22号市内区間） 並行区間に混雑時旅行速度20km/h未満の区間があり（新川新橋 - 古城、上更通 - 押切）当該路線の整備により旅行速度が向上	
	現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	-	
	現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	-	
	新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	一宮市から名古屋駅までの短縮時間22分（48分 - 26分）	
	第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	名古屋高速一宮線と一体となって岐阜・一宮方面から中部国際空港へのアクセスが向上する。	
	物流効率化の支援	重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	名古屋高速一宮線と一体となって岐阜・一宮方面から名古屋港へのアクセスが向上する。
	農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	名古屋高速一宮線と一体となって名神高速・東海北陸道と連絡することにより名古屋圏への流通利便性が向上	
	現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	-	
	1. 活力 都市の再生	都市再生プロジェクトを支援する事業である	-
広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する		-	
市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり		沿線の庄内地区総合整備の一環として寄与する。	
中心市街地内で行う事業である		DID区域内での事業がある。	
幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である		-	
DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する		-	
対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発（300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上）への連絡道路となる		-	
国土・地域ネットワークの構築		高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り	-
地域高規格道路の位置づけあり		平成7年4月に整備区間に指定	
当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する		-	
当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	名古屋高速一宮線と一体となって、名古屋市周辺の一宮市・稲沢市・岩倉市と名古屋圏を最短時間で連絡		
現道等における交通不能区間を解消する	-		
現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	-		
日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	名古屋高速一宮線と一体となって、名古屋市周辺の一宮市・稲沢市・岩倉市と名古屋圏を最短時間で連絡		
個性ある地域の形成	鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	一級河川である庄内川を横架し名古屋市とその周辺の市町を連絡する。	
	拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	岐阜・一宮方面と中部国際空港を自動車専用道路で連絡することにより関連プロジェクトを支援する。	
	主要な観光地へのアクセス向上が期待される	-	
	特別立法に基づく事業である	-	
	新規整備の公共施設へ直結する道路である	-	
	歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	-	
2. 暮らし 歩行者・自転車のための生活空間の形成	自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	-	
	交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	-	
	対象区間が電線雑地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	-	
無電柱化による美しい町並みの形成	市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	-	
	安全で安心できるくらしの確保	三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	名古屋市周辺の市町から名古屋市の三次医療施設へのアクセスが向上する。
3. 安全 安全な生活環境の確保	現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	-	
	当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	-	
	災害への備え	近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1 - 2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	-
	対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	愛知県第一次緊急輸送道路（県庁所在地、地方中心城市、重要港湾、空港等を連絡する道路）に指定されている。	
	緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	東名阪道と一体となって名古屋高速橋線の代替路線として機能する。	
	並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	東名阪道と一体となって名古屋高速橋線の代替路線として機能する。	
	現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	-	
	現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	-	
	避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	-	
	幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	-	
密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	-		
4. 環境 地球環境の保全	対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：23,000t/年	
	生活環境の改善・保全	並行区間（国道22号線、名古屋江南線、名古屋祖父江線） 排出削減量：93t/年、排出削減率：20%削減	
	現道等における自動車からのNO2排出削減率	並行区間（国道22号線、名古屋江南線、名古屋祖父江線） 排出削減量：8t/年、排出削減率：18%削減	
	現道等における自動車からのSPM排出削減率	並行する名古屋高速橋線と交通量を分担することにより橋線の騒音が緩和	
	現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	-	
その他、環境や景観上の効果が期待される	-		
5. その他 他のプロジェクトとの関係	道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	名古屋新世紀計画2010で整備を促進する路線として位置づけ	
	関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	-	
	他機関との連携プログラムに位置づけられている	-	
	その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	-	

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BPの別
高速名古屋朝日線	1・4・3号高速3号線(北部区間)	7.0km	地域高規格	-

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
53,900 ~ 55,600	4	名古屋高速道路公社

## 費用

	改築費	維持修繕費	合計
基準年	平成16年度		
単純合計	1,427億円	499億円	1,926億円
うち残事業分	509億円	499億円	1,008億円
基準年における 現在価値(C)	1,457億円	226億円	1,683億円
うち残事業分	479億円	226億円	705億円

便 益

	走行時間 短縮便益	走行費用 短縮便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成16年度			
供 用 年	平成19年度			
単年便益 (初年便益)	243億円	26億円	21億円	290億円
基準年における 現在価値 (B)	5,420億円	578億円	469億円	6,467億円
うち残事業分	5,420億円	578億円	469億円	6,467億円

結 果

費用便益比 (事業全体)	3.8
費用便益比 (残事業)	9.2

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

## 交通状況の変化【全体事業・残事業】

事業名：1・4・3号高速3号線(北部区間)

(推計時点 H19年)

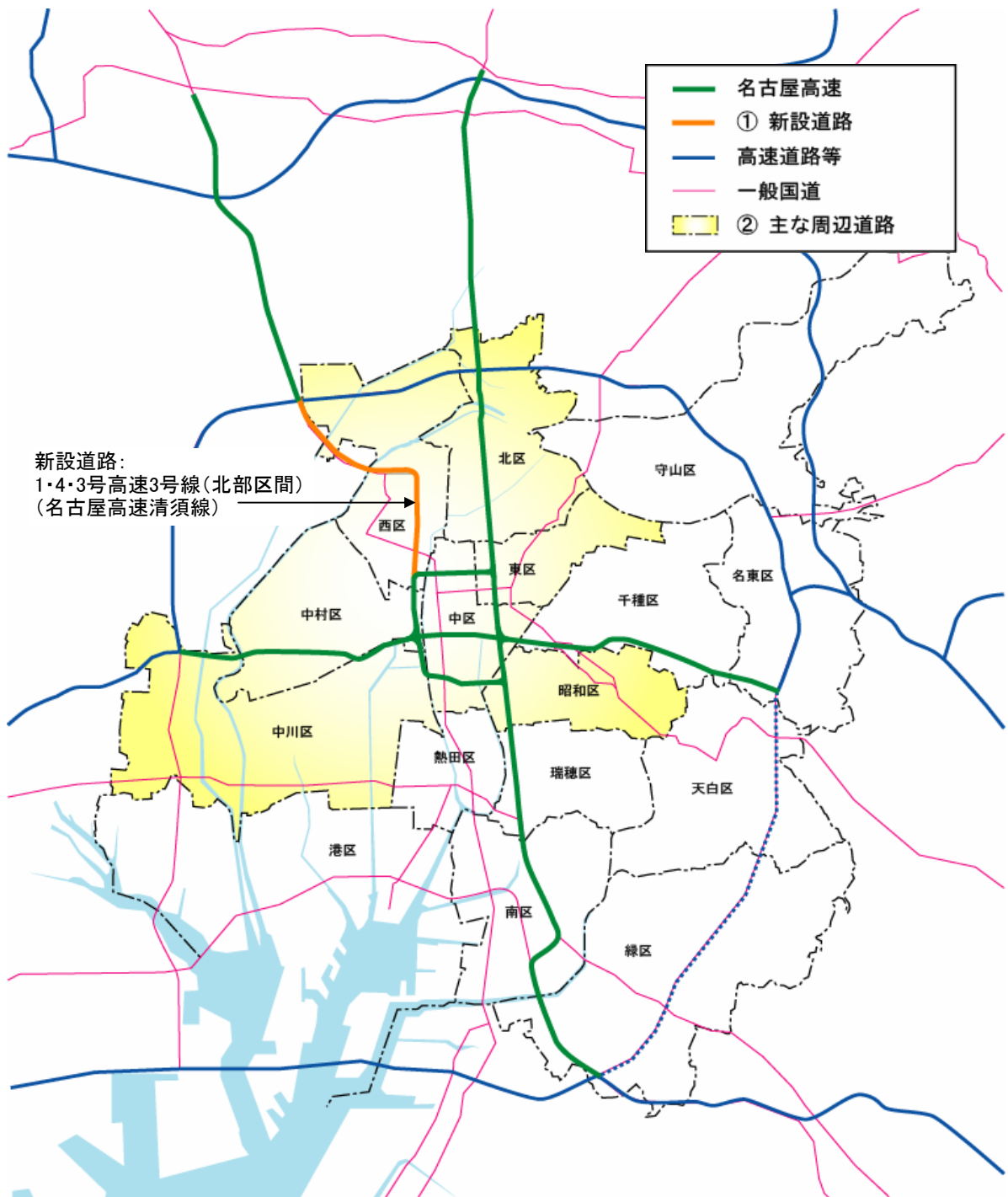
			整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路 [高速3号線(北部)] : 7.0km	走行台キロ	[万台km/日]		33
	走行台時	[万台分/日]		29
	走行時間費用	[億円/年]		68
②主な周辺道路※4 名古屋市内7区(東,北,西,中村,中,昭和,中川) : 424km	走行台キロ	[万台km/日]	976	943
	走行台時	[万台分/日]	2,724	2,615
	走行時間費用	[億円/年]	6,453	6,228
③その他道路合計 : 15,050km	走行時間費用	[億円/年]	145,339	145,253

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 15,481km	走行時間短縮便益	[億円/年]	151,792	151,549	243

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

事業名：1・4・3号高速3号線(北部区間)

【 図面（①、②に該当する道路を明示すること） 】



## 費用便益分析の条件

事業名：高速名古屋朝日線

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)		
	その他		
分析の基本的事項	分析対象期間	40年	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成16年度	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計 複数時点での推計	
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	
		整備の有無のいずれかのみ推計	有 無
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	( )
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	
		その他( )	
	開発交通量の考慮	無	
		有	
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載
	配分交通量の推計手法	Q - V式を用いた配分	
転換率式を用いた配分			
Q - V式と転換率式の併用による配分			
均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)			
簡易手法			
簡易手法の場合		小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他( )	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載		
	最終配分の速度 採用理由を記載		
	その他( )		
	その他( )		



## 費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 高速名古屋朝日線(全体事業)

採用単価の根拠 高速道路		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
-	7.0km	-

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
- 12年目	H 7	1.4233	5	7		
- 11年目	H 8	1.3686	18	25		
- 10年目	H 9	1.3159	15	20		
- 9年目	H 10	1.2653	15	19		
- 8年目	H 11	1.2167	39	47		
- 7年目	H 12	1.1699	27	32		
- 6年目	H 13	1.1249	73	82		
- 5年目	H 14	1.0816	93	101		
- 4年目	H 15	1.0400	309	321		
- 3年目	H 16	1.0000	324	324		
- 2年目	H 17	0.9615	251	241		
- 1年目	H 18	0.9246	232	215		
供用開始年次	H 19	0.8890	26	23	11	10
1年目	H 20	0.8548	0	0	15	13
2年目	H 21	0.8219	0	0	14	12
3年目	H 22	0.7903	0	0	12	9
4年目	H 23	0.7599	0	0	12	9
5年目	H 24	0.7307	0	0	9	7
6年目	H 25	0.7026	0	0	9	6
7年目	H 26	0.6756	0	0	9	6
8年目	H 27	0.6496	0	0	9	6
9年目	H 28	0.6246	0	0	9	6
10年目	H 29	0.6006	0	0	13	8
11年目	H 30	0.5775	0	0	13	8
12年目	H 31	0.5553	0	0	13	7
13年目	H 32	0.5339	0	0	13	7
14年目	H 33	0.5134	0	0	13	7
15年目	H 34	0.4936	0	0	13	6
16年目	H 35	0.4746	0	0	13	6
17年目	H 36	0.4564	0	0	13	6
18年目	H 37	0.4388	0	0	13	6
19年目	H 38	0.4220	0	0	13	5
20年目	H 39	0.4057	0	0	13	5
21年目	H 40	0.3901	0	0	13	5
22年目	H 41	0.3751	0	0	13	5
23年目	H 42	0.3607	0	0	13	5
24年目	H 43	0.3468	0	0	13	5
25年目	H 44	0.3335	0	0	13	4
26年目	H 45	0.3207	0	0	13	4
27年目	H 46	0.3083	0	0	13	4
28年目	H 47	0.2965	0	0	13	4
29年目	H 48	0.2851	0	0	13	4
30年目	H 49	0.2741	0	0	13	4
31年目	H 50	0.2636	0	0	13	3
32年目	H 51	0.2534	0	0	13	3
33年目	H 52	0.2437	0	0	13	3
34年目	H 53	0.2343	0	0	13	3
35年目	H 54	0.2253	0	0	13	3
36年目	H 55	0.2166	0	0	13	3
37年目	H 56	0.2083	0	0	13	3
38年目	H 57	0.2003	0	0	13	3
39年目	H 58	0.1926	0	0	13	3
合計						
単純事業費計			1,427		499	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 維持修繕費は積み上げにより算出している。



## 費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 高速名古屋朝日線(残事業)

採用単価の根拠 高速道路		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
-	7.0km	-

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
- 12年目	H 7	1.4233				
- 11年目	H 8	1.3686				
- 10年目	H 9	1.3159				
- 9年目	H 10	1.2653				
- 8年目	H 11	1.2167				
- 7年目	H 12	1.1699				
- 6年目	H 13	1.1249				
- 5年目	H 14	1.0816				
- 4年目	H 15	1.0400				
- 3年目	H 16	1.0000				
- 2年目	H 17	0.9615	251	241		
- 1年目	H 18	0.9246	232	215		
供用開始年次	H 19	0.8890	26	23	11	10
1年目	H 20	0.8548	0	0	15	13
2年目	H 21	0.8219	0	0	14	12
3年目	H 22	0.7903	0	0	12	9
4年目	H 23	0.7599	0	0	12	9
5年目	H 24	0.7307	0	0	9	7
6年目	H 25	0.7026	0	0	9	6
7年目	H 26	0.6756	0	0	9	6
8年目	H 27	0.6496	0	0	9	6
9年目	H 28	0.6246	0	0	9	6
10年目	H 29	0.6006	0	0	13	8
11年目	H 30	0.5775	0	0	13	8
12年目	H 31	0.5553	0	0	13	7
13年目	H 32	0.5339	0	0	13	7
14年目	H 33	0.5134	0	0	13	7
15年目	H 34	0.4936	0	0	13	6
16年目	H 35	0.4746	0	0	13	6
17年目	H 36	0.4564	0	0	13	6
18年目	H 37	0.4388	0	0	13	6
19年目	H 38	0.4220	0	0	13	5
20年目	H 39	0.4057	0	0	13	5
21年目	H 40	0.3901	0	0	13	5
22年目	H 41	0.3751	0	0	13	5
23年目	H 42	0.3607	0	0	13	5
24年目	H 43	0.3468	0	0	13	5
25年目	H 44	0.3335	0	0	13	4
26年目	H 45	0.3207	0	0	13	4
27年目	H 46	0.3083	0	0	13	4
28年目	H 47	0.2965	0	0	13	4
29年目	H 48	0.2851	0	0	13	4
30年目	H 49	0.2741	0	0	13	4
31年目	H 50	0.2636	0	0	13	3
32年目	H 51	0.2534	0	0	13	3
33年目	H 52	0.2437	0	0	13	3
34年目	H 53	0.2343	0	0	13	3
35年目	H 54	0.2253	0	0	13	3
36年目	H 55	0.2166	0	0	13	3
37年目	H 56	0.2083	0	0	13	3
38年目	H 57	0.2003	0	0	13	3
39年目	H 58	0.1926	0	0	13	3
合計						
単純事業費計			509		499	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 維持修繕費は積み上げにより算出している。

## 便益の現在価値算定表

箇所名: 高速名古屋朝日線(全体事業)

年次	年度 (基準年) H16	総走行台数の年次別伸び率 (ポロツク)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)						走行経費減少便益(億円)						事故減少便益(億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	貨物車類	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 ×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 (A) ×	現在価値 ×(A)	現在価値 ×(A)	便益合計 ( - )	現在価値 割引率4%
		乗用車	貨物車	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 ×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 (A) ×	現在価値 ×(A)	現在価値 ×(A)	便益合計 ( - )	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 19	1.01837	1.01837	1.01837	0.8890	147	20	47	29	243	216	12	1	8	5	26	23	21	19	290	258
1年目	H 20	1.02525	1.02525	1.02525	0.8548	148	20	48	29	245	209	13	1	8	5	27	23	21	18	293	250
2年目	H 21	1.03217	1.03217	1.03217	0.8219	149	21	48	30	248	204	13	1	8	5	27	22	21	17	296	243
3年目	H 22	1.03914	1.03914	1.03914	0.7903	179	25	58	35	297	235	15	1	10	6	32	25	26	21	355	281
4年目	H 23	1.04455	1.04455	1.04455	0.7599	180	25	58	36	299	227	15	1	10	6	32	24	26	20	357	271
5年目	H 24	1.04998	1.04998	1.04998	0.7307	181	25	58	36	300	219	15	1	10	6	32	23	26	19	358	261
6年目	H 25	1.05545	1.05545	1.05545	0.7026	182	25	58	36	301	211	15	1	10	6	32	22	26	18	359	251
7年目	H 26	1.06096	1.06096	1.06096	0.6756	183	25	59	36	303	205	16	1	10	6	33	22	26	18	362	245
8年目	H 27	1.06651	1.06651	1.06651	0.6496	184	25	59	36	304	197	16	1	10	6	33	21	26	17	363	235
9年目	H 28	1.07106	1.07106	1.07106	0.6246	184	25	59	37	305	191	16	1	10	6	33	21	26	16	364	228
10年目	H 29	1.07564	1.07564	1.07564	0.6006	186	26	60	37	309	186	16	1	10	6	33	20	27	16	369	222
11年目	H 30	1.08026	1.08026	1.08026	0.5775	186	26	60	37	309	178	16	1	10	6	33	19	27	16	369	213
12年目	H 31	1.08493	1.08493	1.08493	0.5553	187	26	60	37	310	172	16	1	10	6	33	18	27	15	370	205
13年目	H 32	1.08964	1.08964	1.08964	0.5339	188	26	60	37	311	166	16	1	10	6	33	18	27	14	371	198
14年目	H 33	1.08889	1.08889	1.08889	0.5134	187	26	60	37	310	159	16	1	10	6	33	17	27	14	370	190
15年目	H 34	1.08814	1.08814	1.08814	0.4936	187	26	60	37	310	153	16	1	10	6	33	16	27	13	370	182
16年目	H 35	1.08738	1.08738	1.08738	0.4746	187	26	60	37	310	147	16	1	10	6	33	16	27	13	370	176
17年目	H 36	1.08663	1.08663	1.08663	0.4564	187	26	60	37	310	141	16	1	10	6	33	15	27	12	370	168
18年目	H 37	1.08588	1.08588	1.08588	0.4388	187	26	60	37	310	136	16	1	10	6	33	14	27	12	370	162
19年目	H 38	1.08512	1.08512	1.08512	0.4220	187	26	60	37	310	131	16	1	10	6	33	14	27	11	370	156
20年目	H 39	1.08437	1.08437	1.08437	0.4057	186	26	60	37	309	125	16	1	10	6	33	13	27	11	369	149
21年目	H 40	1.08362	1.08362	1.08362	0.3901	186	26	60	37	309	121	16	1	10	6	33	13	27	11	369	145
22年目	H 41	1.08286	1.08286	1.08286	0.3751	186	26	60	37	309	116	16	1	10	6	33	12	27	10	369	138
23年目	H 42	1.08211	1.08211	1.08211	0.3607	186	26	60	37	309	111	16	1	10	6	33	12	27	10	369	133
24年目	H 43	1.07809	1.07809	1.07809	0.3468	185	26	60	37	308	107	16	1	10	6	33	11	27	9	368	127
25年目	H 44	1.07408	1.07408	1.07408	0.3335	185	26	60	37	308	103	16	1	10	6	33	11	27	9	368	123
26年目	H 45	1.07006	1.07006	1.07006	0.3207	184	25	59	37	305	98	16	1	10	6	33	11	26	8	364	117
27年目	H 46	1.06604	1.06604	1.06604	0.3083	184	25	59	36	304	94	16	1	10	6	33	10	26	8	363	112
28年目	H 47	1.06202	1.06202	1.06202	0.2965	183	25	59	36	303	90	16	1	10	6	33	10	26	8	362	108
29年目	H 48	1.05801	1.05801	1.05801	0.2851	183	25	59	36	303	86	16	1	10	6	33	9	26	7	362	102
30年目	H 49	1.05399	1.05399	1.05399	0.2741	182	25	58	36	301	83	15	1	10	6	32	9	26	7	359	99
31年目	H 50	1.04997	1.04997	1.04997	0.2636	181	25	58	36	300	79	15	1	10	6	32	8	26	7	358	94
32年目	H 51	1.04596	1.04596	1.04596	0.2534	180	25	58	36	299	76	15	1	10	6	32	8	26	7	357	91
33年目	H 52	1.04194	1.04194	1.04194	0.2437	180	25	58	36	299	73	15	1	10	6	32	8	26	6	357	87
34年目	H 53	1.03830	1.03830	1.03830	0.2343	179	25	58	35	297	70	15	1	10	6	32	7	26	6	355	83
35年目	H 54	1.03466	1.03466	1.03466	0.2253	178	25	57	35	295	66	15	1	10	6	32	7	26	6	353	79
36年目	H 55	1.03102	1.03102	1.03102	0.2166	177	24	57	35	293	63	15	1	10	6	32	7	25	5	350	75
37年目	H 56	1.02738	1.02738	1.02738	0.2083	177	24	57	35	293	61	15	1	10	6	32	7	25	5	350	73
38年目	H 57	1.02374	1.02374	1.02374	0.2003	177	24	57	35	293	59	15	1	10	6	32	6	25	5	350	70
39年目	H 58	1.02010	1.02010	1.02010	0.1926	175	24	56	35	290	56	15	1	9	6	31	6	25	5	346	67
合計						7,220	998	2,322	1,431	11,971	5,420	616	40	393	237	1,286	578	1,037	469	14,294	6,467

## 便益の現在価値算定表

箇所名: 高速名古屋朝日線(残事業)

年次	年度 (基準年) H16	総走行台数の年次別伸び率 (ポロツク)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)						走行経費減少便益(億円)						事故減少便益(億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	貨物車類	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 ×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 (A) ×	現在価値 ×(A)	現在価値 ×(A)	便益合計 (-)	現在価値 割引率4%
		乗用車	貨物車	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 ×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 (A) ×	現在価値 ×(A)	現在価値 ×(A)	便益合計 (-)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 19	1.01837	1.01837	1.01837	0.8890	147	20	47	29	243	216	12	1	8	5	26	23	21	19	290	258
1年目	H 20	1.02525	1.02525	1.02525	0.8548	148	20	48	29	245	209	13	1	8	5	27	23	21	18	293	250
2年目	H 21	1.03217	1.03217	1.03217	0.8219	149	21	48	30	248	204	13	1	8	5	27	22	21	17	296	243
3年目	H 22	1.03914	1.03914	1.03914	0.7903	179	25	58	35	297	235	15	1	10	6	32	25	26	21	355	281
4年目	H 23	1.04455	1.04455	1.04455	0.7599	180	25	58	36	299	227	15	1	10	6	32	24	26	20	357	271
5年目	H 24	1.04998	1.04998	1.04998	0.7307	181	25	58	36	300	219	15	1	10	6	32	23	26	19	358	261
6年目	H 25	1.05545	1.05545	1.05545	0.7026	182	25	58	36	301	211	15	1	10	6	32	22	26	18	359	251
7年目	H 26	1.06096	1.06096	1.06096	0.6756	183	25	59	36	303	205	16	1	10	6	33	22	26	18	362	245
8年目	H 27	1.06651	1.06651	1.06651	0.6496	184	25	59	36	304	197	16	1	10	6	33	21	26	17	363	235
9年目	H 28	1.07106	1.07106	1.07106	0.6246	184	25	59	37	305	191	16	1	10	6	33	21	26	16	364	228
10年目	H 29	1.07564	1.07564	1.07564	0.6006	186	26	60	37	309	186	16	1	10	6	33	20	27	16	369	222
11年目	H 30	1.08026	1.08026	1.08026	0.5775	186	26	60	37	309	178	16	1	10	6	33	19	27	16	369	213
12年目	H 31	1.08493	1.08493	1.08493	0.5553	187	26	60	37	310	172	16	1	10	6	33	18	27	15	370	205
13年目	H 32	1.08964	1.08964	1.08964	0.5339	188	26	60	37	311	166	16	1	10	6	33	18	27	14	371	198
14年目	H 33	1.08889	1.08889	1.08889	0.5134	187	26	60	37	310	159	16	1	10	6	33	17	27	14	370	190
15年目	H 34	1.08814	1.08814	1.08814	0.4936	187	26	60	37	310	153	16	1	10	6	33	16	27	13	370	182
16年目	H 35	1.08738	1.08738	1.08738	0.4746	187	26	60	37	310	147	16	1	10	6	33	16	27	13	370	176
17年目	H 36	1.08663	1.08663	1.08663	0.4564	187	26	60	37	310	141	16	1	10	6	33	15	27	12	370	168
18年目	H 37	1.08588	1.08588	1.08588	0.4388	187	26	60	37	310	136	16	1	10	6	33	14	27	12	370	162
19年目	H 38	1.08512	1.08512	1.08512	0.4220	187	26	60	37	310	131	16	1	10	6	33	14	27	11	370	156
20年目	H 39	1.08437	1.08437	1.08437	0.4057	186	26	60	37	309	125	16	1	10	6	33	13	27	11	369	149
21年目	H 40	1.08362	1.08362	1.08362	0.3901	186	26	60	37	309	121	16	1	10	6	33	13	27	11	369	145
22年目	H 41	1.08286	1.08286	1.08286	0.3751	186	26	60	37	309	116	16	1	10	6	33	12	27	10	369	138
23年目	H 42	1.08211	1.08211	1.08211	0.3607	186	26	60	37	309	111	16	1	10	6	33	12	27	10	369	133
24年目	H 43	1.07809	1.07809	1.07809	0.3468	185	26	60	37	308	107	16	1	10	6	33	11	27	9	368	127
25年目	H 44	1.07408	1.07408	1.07408	0.3335	185	26	60	37	308	103	16	1	10	6	33	11	27	9	368	123
26年目	H 45	1.07006	1.07006	1.07006	0.3207	184	25	59	37	305	98	16	1	10	6	33	11	26	8	364	117
27年目	H 46	1.06604	1.06604	1.06604	0.3083	184	25	59	36	304	94	16	1	10	6	33	10	26	8	363	112
28年目	H 47	1.06202	1.06202	1.06202	0.2965	183	25	59	36	303	90	16	1	10	6	33	10	26	8	362	108
29年目	H 48	1.05801	1.05801	1.05801	0.2851	183	25	59	36	303	86	16	1	10	6	33	9	26	7	362	102
30年目	H 49	1.05399	1.05399	1.05399	0.2741	182	25	58	36	301	83	15	1	10	6	32	9	26	7	359	99
31年目	H 50	1.04997	1.04997	1.04997	0.2636	181	25	58	36	300	79	15	1	10	6	32	8	26	7	358	94
32年目	H 51	1.04596	1.04596	1.04596	0.2534	180	25	58	36	299	76	15	1	10	6	32	8	26	7	357	91
33年目	H 52	1.04194	1.04194	1.04194	0.2437	180	25	58	36	299	73	15	1	10	6	32	8	26	6	357	87
34年目	H 53	1.03830	1.03830	1.03830	0.2343	179	25	58	35	297	70	15	1	10	6	32	7	26	6	355	83
35年目	H 54	1.03466	1.03466	1.03466	0.2253	178	25	57	35	295	66	15	1	10	6	32	7	26	6	353	79
36年目	H 55	1.03102	1.03102	1.03102	0.2166	177	24	57	35	293	63	15	1	10	6	32	7	25	5	350	75
37年目	H 56	1.02738	1.02738	1.02738	0.2083	177	24	57	35	293	61	15	1	10	6	32	7	25	5	350	73
38年目	H 57	1.02374	1.02374	1.02374	0.2003	177	24	57	35	293	59	15	1	10	6	32	6	25	5	350	70
39年目	H 58	1.02010	1.02010	1.02010	0.1926	175	24	56	35	290	56	15	1	9	6	31	6	25	5	346	67
合計						7,220	998	2,322	1,431	11,971	5,420	616	40	393	237	1,286	578	1,037	469	14,294	6,467